

台湾日本語文学会・東呉大学日本語文学科
 2020年台湾日本語・日本文学研究国際シンポジウム
 東呉大学日本語学科修士課程創立40周年記念
 —日本語文学研究の境界線—
 プログラム

参加申込リンク↓

日 時：2020年12月12日（土曜日）
 場 所：東呉大学外雙溪キャンパス第一教学研究ビル
 主 催 者：台湾日本語文学会・東呉大学日本語文学科
 助 成：科技部、国際交流基金
 後 援：公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所



| | | | |
|----------------|--|--|--|
| 時間 | | | |
| 09:15 09:45 | 受 付 | | |
| 09:45 10:00 | 開 会 式：普仁堂 王世和（台湾日本語文学会理事長、東呉大学教授） 村嶋郁代（公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所広報文化部長） | | |
| | 基調講演 1 | | |
| 10:00 10:50 | 講 演 者：石黒圭（国立国語研究所日本語教育研究領域教授） タイトル：オノマトペの多ジャンル性—日常会話から文学作品まで 司 会 者：王世和（台湾日本語文学会理事長、東呉大学教授） | | |
| | 基調講演 2 | | |
| 10:50 11:40 | 講 演 者：西成彦（立命館大学先端総合学術研究科名誉教授） タイトル：飢えと文学—底辺からの文学— 司 会 者：楊錦昌（台湾日本語文学会副理事長、輔仁大学教授） | | |
| 11:40 13:00 | ポスター発表 司会者：葉懿萱 場所：Rビル1階 | 昼食（12：00～13：00） 場所：R0302 教室、R0305 教室 | |
| | | 台湾日本語文学会会員大会（12：00～13：00） 場所：R0312 教室 | |
| 13:10 14:40 | A会場（R0302 教室） | B会場（R0305 教室） | C会場（R0311 教室） |
| | 座長：陳志文 （高雄大学教授兼院長） | 座長：馮寶珠 （輔仁大学副教授） | 座長：林雪星 （東呉大学教授） |
| | A1 招待発表者：八木下孝雄 （国立国語研究所プロジェクト 非常勤研究員） 共同発表者：高田智和 （国立国語研究所准教授） 石黒圭 （国立国語研究所教授） タイトル： 台湾学術雑誌データ追加による「日本語研究・日本語教育文献データベース」の拡張 | B1 招待発表者：郭銀心 （韓国京畿大学校助教授） タイトル： 流行歌歌詞に見られる語彙の特徴と日本人の心情 | C1 発表者：曾秋桂 （淡江大学教授兼主任） タイトル： エコフェミニズムの視点から読む多和田葉子の『星に仄めかされて』—「神の子どもたちはみんな踊る」の意味をめぐって— |
| | A2 発表者：落合由治 （淡江大学教授） タイトル： 小説におけるテキスト・マイニング手法の応用と日本語研究への課題 | B2 発表者：龔柏榮 （名古屋大学博士課程後期課程） タイトル： 日本語教育文法からみた「トハカギラナイ」の用法 | C2 発表者：増井真琴 （日本学術振興会特別研究員） タイトル： 植民地朝鮮をめぐる旅—巖谷小波の朝鮮体験 |
| | A3 発表者：陳冠霖 （東呉大学助理教授） タイトル： 日本語母語話者における場面別のフィラーの使用傾向—ロールプレイ会話とストーリーテリング発話の違いに着目して— | B3 発表者：彦坂はるの （東呉大学博士課程） タイトル： 台湾人学習者の「たら」と「ても」の使用に関する一考察—穴埋め式テストにおける誤用例の観察を通して— | C3 発表者：宮崎尚子 （茨城大学准教授） タイトル： 川端康成の乙女～みち子の系譜～ |
| | 質疑応答 | | |

| | | | |
|----------------|---|--|---|
| 14:40 15:00 | ティーブレイク | | |
| 15:00 16:30 | 座長：林玉恵 (銘伝大学教授) | 座長：范淑文 (台湾大学教授) | 座長：簡曉花 (中華大学教授兼院長) |
| | A4 発表者：蔡珮菁 (中国文化大学副教授) タイトル： 司法通訳のための日本刑事事件判決文の語彙特徴の調査研究 | B4 発表者：齋藤正志 (中国文化大学教授) タイトル： 現代と古代の境界線—川上弘美の『水声』における『うつほ物語』の〈暗示引用〉— | C4 発表者：呉雪虹 (高雄市立空中大学副教授) タイトル： 漱石文学と『莊子』の逍遙遊—四首の漢詩に隠喩された肉声— |
| | A5 発表者：住田哲郎 (京都精華大学専任講師) タイトル： マンガから得られる日本語の学びについて | B5 発表者：佐藤敬子 (元) 横浜市立大学看護短期大学非常勤講師) タイトル： 物語の齋宮 | C5 発表者：山本博一 (桐生大学短期大学部准教授) タイトル： 住むまちを言葉であらわしまちの価値を共有する取り組み—北海道むかわ町での取り組みから— |
| | A6 発表者：大日向基子 (桐生大学短期大学部准教授) タイトル： 国際交流を通して日本語教育と多文化共生を知る | B6 発表者：永井真平 (名古屋学院大学非常勤講師) タイトル： 折口信夫の戦争詩—「たづがね」の中の防人と徴兵をめぐる | C6 発表者：沈吉穎 (大阪大学博士後期課程) タイトル： 「外国人高度人材」概念の意味変遷について |
| 質疑応答 | | | |
| 16:30 16:50 | ティーブレイク | | |
| 16:50 17:50 | 座長：落合由治 (淡江大学教授) | 座長：陳順益 (中国文化大学副教授) | 座長：邱若山 (静宜大学教授兼主任) |
| | A7 発表者：戸田哲也 (景文科技大学助理教授) タイトル： 「日本人論」における「二項対立」の構造—「タテマエ」と「ホンネ」を例として— | B7 発表者：陳若婷 (東呉大学助理教授) タイトル： 情報番組における理解を表す応答表現について—「なるほど、そうなんだ」を中心に— | C7 発表者：阮文雅 (東呉大学副教授) タイトル： 『台北俳句集』のテキスト分析—高阿香の俳句を例に— |
| | A8 発表者：ヤン・ダニエル (九州大学博士後期課程) タイトル： 1960年代前半日本の政治と前衛芸術—寺山修司、ワーグナー及びニーチェ— | B8 発表者：藤田守 (拓殖大学北海道短期大学准教授) タイトル： 日本語らしいCV音節長習得を促進する中国語音節とその要因—日・中両語の4音節語の音節長パターンの比較から— | C8 発表者：沈美雪 (中国文化大学副教授) タイトル： 「台湾月並句」から「台湾俳句」への超越—山本孕江と大正後期の台湾俳壇— |
| 質疑応答 | | | |
| 17:50 18:00 | 閉会式：普仁堂 楊錦昌 (台湾日本語文学会副理事長、輔仁大学教授) 羅濟立 (東呉大学教授兼主任) | | |
| 18:00 | 懇親会 | | |

ポスター発表

| 番号 | 発表者名前 | 所属・職位 | タイトル |
|----|---|--|--|
| 1 | 徐孟鈴 *張承暄 | 銘伝大学応用日語学科副教授 *修士課程 | 日本に渡航する台湾人ワーキング・ホリデー利用者の異文化適応について —帰属理論及びUカーブ仮説の分析から— |
| 2 | 簡曉花 *魏志珍 **王盈文 ***西澤真奈未 | 中華大学応用日語学科教授 *副教授 **助理教授 ***講師 | Zuvio IRS を生かした文化、文学、聴解、会話授業の試み |
| 3 | 鈴木祐子 | 東呉大学大学院日本語文学学科 修士課程 | 森丑之助『台湾蕃族誌』への一考察 —佐藤春夫『魔鳥』の先行テキストとして— |
| 4 | 劉欣宜 | 東呉大学大学院日本語文学学科 修士課程 | 「時計草」論 —理蕃政策下の二種の恋愛物語の結末を考察— |
| 5 | 黒子望 | 茨城大学大学院教育学研究科 院生 | 泉鏡花研究 |
| 6 | 馮寶珠 | 輔仁大学日本語文学学科 副教授 | 台湾日本語学習者の複合動詞の使用実態に関する 一考察 |
| 7 | 朱信樞 | 神戸大学大学院人文学研究科 博士前期課程 | 漱石以降の写生文 —内田百閒『冥途』における俳句からの展開— |
| 8 | 葉姿吟 | 東呉大学大学院日本語文学学科 修士課程 | 「変わる」「変化する」「チェンジする」の使い分け —BCCWJを対象として— |
| 9 | 呉翠華 林淑璋 *黃怡錚 **姚昌辰 **羅婷 **李秉彦 **丁延欣 | 元智大学 応用外国語学科副教授 *インフォメーション・コミュニケーション学科副教授 **学部生 | 日本文化学習のためのVR教材作製の試み |
| 10 | 詹育萱 | 台湾大学日本語学科 修士課程 | 日本語における英語定冠詞の使用状況の一考察 —「ザ」(the)を中心に— |